



リサと
パパと

『ん……ふあ パパのオチンチン……アタシの中に入ってきたあ……』

アイドルになった記念すべき日に、アタシはパパと結ばれちゃった！

『フフ……おっきくてちよっと苦しいけど……動いても大丈夫だよ』

パパは初めてのアタシを気遣って、ゆっくりやさしく動いてくれるんだ。

『アッ！ 初めてなのに……キモチいいよあ。んっ！

アタシ、パパのオチンチンで気持ちよくなってる……』

アタシはこの時をずーっと待っていたから、

全然怖くなかった。それより、

嬉しさのほうが大きかったんだもん！

『パパあ、もっと動いていいよ……』

んっ、あっ！アタシ、ふあんっ！

パパの赤ちやん……産んであげるんだから！』

って言っっちゃったんだ！

そしたらパパったり、腰の動きを早めて

アタシの中をたっくさん

かき回してきたの！

『パパあ……きこってっ！ いっぱい出してっ！』

アタシの中のオチンチンが一番奥でびくびくってしたと思ったなら、すっごい勢いで精液が溢れ出したの。

『ひゃんっ！ すごっ！ 熱いよお……精液広がってる！』

アタシ、幸せすぎて……

あっ！ 腰がういちやうようっ パパっ！ ンああっ！』

初めてのパパの射精を受けて、アタシもイっちゃった！。パパと一緒にイけたのがすっごくうれしかった。

『はああああ……まだ、出てる。』

いっただい……ンっ、アっ！』

いつまででるのお……

おながいっばいだよお！』

ただでさえパパのオチンチンでアソコがいっぱいっばい

だったのに……

精子でさらに広げられてるの！

でも、それがすっごく幸せだった。

『あ……もう抜いちやうの？ アタシはまだ大丈夫だよ？』

きゆうって締め付けてパパのオチンチンを逃がさないようにしてただけど……
だんだんしぼんできたと思ったら抜けちやった……ちよつと残念。
オチンチンの先から、精液が糸を引いていた。ちよつとエツチ。

『はあ……パパの赤ちやんの素……お腹に溜まってる……パパのセーシのぶん、
アタシのお腹重くなってる……』

さっきまでなかった重さを感じる……ことができてたんだ。



『あん……くすぐったいよお』

しばらくしてパパは、破瓜の血を優しく拭きとってくれた。
そんなにいじられたら……アタシはまたエッチがしたくなってしまうよ。

『ねえ……もついつかいいしてもいいよ。』

アタシは全然だいじょうぶなんだからネ？』

ほらっ……って言って、アソコを開いて見せつけるんだ。
恥ずかしかったけど、今日のアタシはちよっと大胆にな
なってるみたい。いまなら、なんだってできる気がした。

『あっ……早く塞いでくれないと……
パパの精子溢れてきちゃうよ……
それとも、それが見たいの？』

パパったら、娘の中にホントに
出したがしっっかり確認したいんだ……
いいよ、しっっかり確認してネ！

『んもっ……まっでで！』

今……見せちゃうんだからあ！んっ』

アタシは下半身に力を込めて、
膣をきゅって縮めた。

『あ……あっ！ ほら、でてきたあー！』

アタシのあそこからパパの精液がどるってあふれだしてきちゃった。

『フッフ、すごい量……赤ちゃんになれなくてゴメンね！』

あれあれ〜！ パパのオチンチン、またおっきくなってるよ〜！』

さっきまでしぼみかけていたオチンチン、

アタシの中に入れる時みたいに

大きく、硬くなって上むいちちゃってるの！』

『えへへ、またしたくなっちやった？』

アタシもまだまだしたいな！』

ねえ……パパのオチンチンで

リサをもっともっど、気持よくして！』

あっ……！ ひゃんっー！』

パパはまたアタシの中に

オチンチンを入れてきてくれたんだ！』

たくさんエッチをして、さすがにアタシもへトへトになっちゃった！

パパは優しく体を持ち上げてくれてお姫様抱っこ。そして、「お疲れ様」って言ってキスしてくれた。

ホントにパパのものになっちゃたって思ったら、すっごく嬉しい！

アタシもぎゅってパパを抱きしめて、幸せな気分にしばらく浸っていたんだ。

「あはっ！ くすぐったあー……んっ！ パーあ
シツコすぎだよお…… あっ！ そんなに、わき舐めるの
好きなの？ んあっ…… そんなにしたらあ だめっー！」

アイドルリサにパパったらすっごく興奮して、
身体のおちこちをへるへる、犬みたいに舐めてくるの！
アタシでも気づがなかつたところ
意外に気持ちよかつたりして……
その中でも、わきをパパに舐められてると……

「あっ！ あんっ！ 変……だよお ンっ！
なに、これえ……」

はじめはくすぐったいって思ってたところ
が
パパのおチンチンで突かれてオマンコみたい
に
だんだんキモチよくなってくるの！

「アッ！ んあっ！ パパッ パパア……
まるで全身がアッコになつちやつたみたいに
ピンカンになって、パパに触れられている所
全身、性感帯になつちやう！」

『……パパのオチンチン、びくびくしてきてきたよー！』

オチンチンがアタシの奥にぎゅうぐゅうって押し付けられた。精液、子宮に流しこむんだ……

赤ちゃんアタシに産んで欲しいんだってわかって、アタシもきゅうって、あそびを締め付けるんだ！

『んあっ！ きたっ！
パパの出てくるっ！
んんんん！
好きっ！
すきっ……
パパあー！』

パパの射精を受けて、アタシもイっちゃった！

『ふあっ！
いっぱいであるっ！
んっ！
お腹にパパの精液
溜まっている……
アタシ、すっごく幸せ……』

勢いは弱まってきたけど、オチンチンはまだ精液をアタシの中に出し続けていた。

ゴゴゴユルルッ
びゅぶっ！

『あつ……出てきちゃったね』
アタシの中に入りきれなくなった精子が、つながっていた部分から溢れだした。ちよっともったいたいなあ。

『あのね……赤ちやんとてみるまでいっしょアイドルになるからー』
赤ちやんの事考えながら、思わずそう言っちゃた！

アタシの……もっと好きになって欲しくて
そう言ったんだけど……パパったら
『もうなってるじゃないか、
リサはパパの中で一番のアイドルだよ』
って言ってくれたの！

フフッ……アタシたち、すっごく両想いの
ベストカップルだなーって……
幸せになっちゃった！

っぶっ
どろお……

『フンッ……それっそれっ！　ねえ……気持ちいい？
どっどっ動いちゃうからねっ！　パパはじーっとしてるんだよー』

今日はアタシの得意なダンスの腰振りで
パパに気持ちよくなってもらおうの！

パパの腰が浮き上がって、そのまま腰を振ってきそっつになるから……

『ダメッ！今日はアタシがパパを気持ちよくしてあげるのっー』
っって言って、動かせなくするんだ。

『アイドルリサがパパの精液絞りとっちやうんだからっ！
ほらほらあ！　アイドルオマンゴ気持ちいい？
おしりの動き、エッチかなあ……フフン』

明らかにパパのおちんちんがおっきくなってきた、
パパがすっごく興奮してるの！　やったあ、大成功！

『フフッ　パパのおちんちんゴクゴクっつして……
もってるそるそる精子出るっ？
っーよ……アタシの中にっっぽっっしちゃうっー』

『パパ……本当にこんなキチャダメなのさ。』

口を大きく開いて、ハアハア息をしている。まるで、命令を待っている犬みたい……でも、がっしりアタシの足を掴んでいて、逃してくれるつもりはないみたい。きつと、おしっこをするまで、パパはずっとこのままなんだ……

そう思った私は、覚悟を決めて下半身にグツと方を込め始めた。

『……やっぱり恥ずかし……』

いつもと違うおしっこをする状況で、おもったように出してくれるわけない。

それでも、がんばって方を込めていると

『あ……ん……で……出ている……ふああ』

ちよるっとおしっこが出てきたのがわかった。

それからはもう止まらなくなって……

膀胱に溜まっていたおしっこは

勢いよくパパの顔めがけて降りかかっていた。

『パパったり、本当に飲んでる……』

アタシのおしっこをおいしそうに喉を鳴らして
ゴクゴク飲んでる……

『アタシのアイドルおしっこ……
そんなにおいしいの？
どこが違う所あるのかなあ……もう……』

ジロ……
シヤアアア！

口を大きく開けて、アタシのおしっこを

こぼれないように飲み込んでるけど

やっぱりパパの顔にもおしっこがかっちやってるよあ……

でもアタシ、それをちよつとつれしいかもって

思っちやってる……

こんなこと、変だよっておもってたけど、

パパと同じでアタシもヘンタイになっちやったのかなあ。

『ひゃんっーオマシコに直接口つけちゃだめえー!』

パパったら、おしっこが終わりそうになったら、オマシコまで近づいてきて、ペるペる舐め取り始めたの!

『も、もう、これ以上おしっこ出ないんだからあ!』

『んっ! やっ……ふあんー!』

ひゃん

アタシがやめてって言っても、パパは全然やめてくれなくて……

『んあっ……アシコ……』

今度はアタシのオマシコの中からおしっこじゃなく愛液が溢れだしてきちゃって……おかしなテンションになってたこともあってアタシは

『だめっ! イツちやう……イクッ……ん、ふあー!』

舌で膣の中をイッパイがき回されて、そのまま何回もイがされちゃった。気持ちよかったけど……パパにおしっこするのくせになっただらどうしよう……

びゅるるっ！

ジュルジュルッ

アタシがイッて、アタシでオナチンチンをきゅーって締め付けたら、パパのオナチンチンももう限界みたい。

「んあっ！ パパもイくの？ ーっよっ！ びゅって……イッパイ出してっえっ！ ーっ！ ーっ！」

っって言っのと同じに精液ドューって出始めちゃった！

「んっ！ っ！ パパの熱いの…… はあっ！ アタシのチビでアッお…… ーっ！ ーっ！」

精液が下からすごい勢いで子宮を打ち付けてる……身体が浮き上がっちゃいそう。

「あっ！ たまってきた…… パパの赤ちゃん……できるかな……これだけいっばいなら……すぐだよな！ あはっ……んっ！ ーっ！」

『はあ……パパの精液、お腹にイッパイだよお。
アタシ幸せ……』

精液を出し尽くしたパパのオチンチンがしばらくで
結合部にすきまができた。

『はあ……あっ、んっ！精液垂れてきちゃったあ
もったいないよお……』

今日もパパの精子は真っ白でドロドロー！

『どれだけのセーシが子宮の中の卵子にたどり着けるのかなあ……
赤ちゃん早くほしいな……パパ、リサの中にもっとたくさん
ドジュエドジュエしてねー』

パパのオチンチンが回復するのを待って、
『んっ！あっ……アッ！』
アタシはまた腰を動かし始めたんだ！



『オマシコの中、しばらくおあずけになっちやたね……パパ』

急に気持ち悪くなったときには、病気がなっっておもって不安になっちやたけど……
病院で検査して赤ちゃんができてたって、わがったときにはすっごくうれしかったの！

『安定期に入るまではエッチはできないけど……
赤ちゃんのためなら仕方ないよねーフッフ』

『でも、それじゃあ、アタシもパパも欲求不満になっちやうから……
だから……んっ、こっして……はっアッっ！』

お股でパパのオチンチン……んっんっ！ 気持ちくっ してあげるっ！ それっ！』

パパのを、お股と太ももで挟み込んで、ごしごししてあげてるの。
パパったら、とっても気持ちよさそうに声をあげちやってる。
アタシも、クリがオチンチンでこすれて気持ちいいんだ……

『すっごくジュッジュッって精液出しちやうんだから！ んっ！ ほらあっ！』

『あはっ……オナンチンビクビクあばれてるよっー』
『ねえ……もうでる？ 出したいなら……出していいよそれえー』

限界に近かったパパったら、アタシがちよつと腰を動かしてしごいたらすぐにイっちやった。
『うわっ……すっごーいー』

精液が先っぽから勢い良く飛び出した。まるで、公園にある噴水みたい！

びゅるっ

ジュルルっ

『アタシの顔のとこるまで精液飛んできたあー！』
『よっぽど気持ちよかったの？ それとも、オナンチンの中にいっぱい溜めすぎてたせい？』
『フッフ、まあどっちでもいいかっー』

顔や身体にいっぱい降り掛かってくる。精液を通してパパの体温を感じてるみたい……
すっごく幸せな気分！

「やっぱり……へんな味い　ン　チュル……　ペロペロ　ンクツッー!」

精液を指先ですくい取ってペロって舐めちやった。

「いつも、子宮の中でゴックンしてたから、口で飲むことは少なかったんだけど……
しばらくは、お口で飲むマと多くなるだろうから、早めに慣れておかなきゃ!」

「パパったら……飛ばし過ぎ……顔にまで飛んできてびっくりしたよ」

「いつもこの勢いでアタシの子宮にぶつけてたんだね……
しかもこの量……赤ちゃんもすぐできちゃうわけだよな!」

「まだ膨らみの感じられないお腹を撫でる。」

「赤ちゃん、まだまだたっても小さくはどこの中にもいるんだよね……」

「えへへ、お腹おおきくなってくるの楽しみだなあ……」

「あ〜!　だしたばっかなのに、オチンチンまたカチカチになってる!」

「パパったら、いつものように、回復するのがすっごく早い!」

「まだまだいっぱい出してあげるね!　フフンッー!」

「アタシはまた、腰をゆすってオチンチンをしごきはじめてんだ!」

まずは舌先で鈴口のオチンチンを
つつんっんっしてする……
オチンチンはくすぐったそとつと
ゴクゴクっって動くのー!

ゴクゴク……

『そろそろ……いただきまーす！ あーんっー』
ナギっぽが口の中に入っちやった。
『パパのオチンチンすっごい大きくい……んむっー』
全部口の中ってワケにはいかならけど……
何回もして……るうちにはびんが感じるのが、
わかってきているんだー!

もぐもぐもぐっー!

はやく

『とっちゅーちゅむむ……じゅむっー』

赤ちやんがお腹の中にいるから、
エッチをする回数が減っちやってちよつと残念だけど……

『あっ……そっ、気持ちいいよおーん』

いっしてパパがアタシのあそびを舐めて、キモチよくしてくるから満足ー！

アタシもパパのおチンチンを舐めて気持ちよくしてあげるのが、
段々好きになってきちゃったー！

『とっちゅあ……おチンチンゼ〜んぶ、キモチよくなっひなっひ』

口の中に飲み込めないおチンチンのさおの部分は、手でゴシゴシ擦ってあげるの。
パパったら嬉しそうに声を上げてくれるから、もっどもっどもっどもっども……じゅてあげたくなっちやっー！

『ちゅまっ……んむっ

ふたりで……いっ

っしよにイかないと……

らめなんらから……んっ

じゅぶ……んぶっー』

もっもっもっ

〜ムムム〜

パパの舌が膣の中で暴れまわってる……
アタシが先にイッちやいそうだよお

「あっ！ あんっ！ パパの久しぶりのオチンチン……キモチいいよっ！」

「安定期に入ってから久しぶりのエッチ解禁で、パパもアタシも大興奮！今は休止してるけど、アイドルの衣装を着てしてるせいでもあるのかな。」

「ひゃんっ！ お腹すりすり気持ちいい……んっ！ そっ舐めるのもいいよお、あかちゃんも喜んでる。はあっ！ アタシにはわかるよお……」

「パパはオチンチンの動きを優しくゆっくりにするかわりにアタシが感じる所をマッサージしたり、ペるペる舐めて、気持ちよくしてくれるんだ。だからすぐにアタシの頭は真っ白になっていったの。」

「はあんっ！ 気持ちいいよお！ イクっ……赤ちやんお腹に抱えたまま……パパのオチンチンと愛撫で……イクっ！ あっ！ んはあっ！」

「アタシがいきそうなのとがわかって、パパも精液出すために、腰の動きを早めてオチンチンを出し入れする。」

「パパっ！ あっ！ オチンチンびくってした！一緒にっ！ 3人一緒だよっ！ イクッ！ いくっん！」

『でああ！ 久しぶりのパパのセーエキ……お腹にきこてるっ』

オチンチンが中でピクピクしてるのが、またキモチ良い。

『あんっー！ 熱いよお……赤ちゃんだって絶対喜んでる……
パパもそう思うでしよっ！』

それから、じわじわって精液の暖かいのが
おなかの中いっぱいにながって……

『なんだかとっても、なつかしい感じだよお……
これが当たり前のような…… フフッ！』

お腹の中に赤ちゃんいるの、孕んじやーそうなくらい
たっくさんきこてるんだ……

『ああ……ごめんね！ 今の赤ちゃん生まれたら、また
アタシを孕ませていいから……』

溢れでた精液に、自然に語りかけていたんだ。

『んあっ……はあっ……』

おしっこを出す前からパーパったら……
『もう待ちきれないよ』って言って、
あそこを吸い付いてくるの。

『ん……リサの妊婦おしっこそんなに飲みたいの？
あっ…… やんっ！……そっ……ちがっ！……』

舌が膣の中に入ってきて、
アタシは気持ちよくなっちゃって……
これじゃおしっこを吐き出すのも
出せなくなっちゃっ！

ちゅま……ちゅま……

『も、もうっ！パーパったら……
あとちよっどで出るんだから待って……
ん、あっ！
ちがっおオが出ちゃうよっ！ あ、愛液吸いだしちや……
ダメえっ！ ン……ひやんっ！……』

足がカクカク震えてきて……
そのままアタシは軽くイっちゃった！
そのせいで身体からは力が抜けて……

『ん……あっ ちゅま……』

ちゅま……ちゅま……おしっこが漏れだしてきただの。

『はあ……あっ……おしっこ出すの……気持ちいい！
ン……パパったら、美味しそうにアタシの
おしっこ飲んでるしー』

パパはアタシから少し顔を離しておしっこを受け止めてた。
『んっ！……全部飲み込んでる……
パパアタシのおしっこ飲むの、上手になりすぎだよお
って言ったたらパパは『そういっつりサだって
パパの口に向かっておしっこを吐き出すのが上手になってる』
だって……』

ぷっしゅあああっ！

『もう……そうだったのは全部、
パパのせいなんだからねー』

毎日欠かさずパパが
アタシの飲むのが日課になっっちゃってるともん

『ちやんと赤ちやんとっつけでみるのかなあ……
おしっこはパパのどころでするんだって
赤ちやんが間違えて覚えちやんそう……』

『そんなことが不安になるほどっ
おしっこ飲ませるのは日常の一部になっっちゃたんだ……』

『んっ……そるそる、おっぱい出てもらいたいと思うんだけどなあ……』

出産後にスムーズに赤ちゃんにミルクあげるため、母乳マッサージは、たとえエッチの最中でも欠かせないの！
それどころか……乳首感じてきて、母乳が出てくるんじゃないかって思えるの。

『あっ……気持ちいいと、んっ！ おっぱいむずむずしてくるっ！』

もっ……もっとオチンチンでっついていいよっ！

あっ……おっぱい出るかも……

今日っそ出るようになってっちやうかもっ！ はんっ！

パパにあそこを突き上げながら、乳首をきゅゅっしてっまむと……
脳の芯までまっしるになっちやうっ！

『んあっ！ もう、いきそう…… あっ あっ！ おっぱいも出るっ！』

ミルクじわって乳首の先から んっ！ 染み出してきたあっ！



『イっ……くっっん！ あっ……あはあ 見てえパパあ……』

いくと同時に、アタシのおっぱいから、すっごい勢いで母乳が噴出し始めちゃった！

『あっ！ イッパイ出てる……やんっ！ きゅって押せば押すほど……どんどん出てきちゃうよお！ ねえ、飲みたい？ 赤ちゃんまだだから、パパに代わりに飲んでもらおうかな』

パパったら、そんなアタシの言葉に興奮したのか……

『あはあっ！ パパもイっちやっただあー』
『いっばいアタシの中に精液ドジュドジュしてくれたんだ。』

『んあっ……ひゃんっ！ パパのミルクが入ってきてるっ……お返しあげるから……待っててね！』

パパの射精が終わった後……アタシは母乳をたくさんパパに飲ませてあげたんだ！

ジュッ

ジュジュッ

おっぱいが出るってわかってからは、
パパったら毎日のように、
アタシの胸に吸い付いてくるんだ！

『んもう……パパったら、赤ちゃんみたいだよお……
あっ！ そんなに強く……
っ！ だめなんだからあっ！

パパったら一生懸命チューチュー吸って……
アタシだって、そんなことされたら

『んっ！ 気持ちいい……あっ……むずむずしてきたあ
出ちやうかも……パパあ
もうちよつとで、ふうんっ！ ミルク出るからネっ！

『あはっ……もうミルク出たあ。パパが毎日吸ってるから、
出やすくなっちやってるのかも……』

『パパったら、アタシのおっぱいから出た母乳をおいしそうに
飲んでる……赤ちゃんもこんなふうに飲むのがなって思ったら、
なんだかすっごくワクワクしてくるんだ。』

『ねえ、味ってどうなの？ おいしい？』

『って聞いたら、パパは『まだちよっと薄いかな』だって……』

『へえこそっつかあ』

『赤ちゃん産んだあとなら、濃くなってるのかなあ……』
『とにかく、いっぱい飲んでね！』

『ちやんと出す練習しておかないと、肝心の赤ちゃんにあげる時に
でなかつたら困るもんね！』



『ふあっ!? あんっ! も、もう……』

パパったら、ミルクをのむだけじゃ満足できないらしくって……
オマンコにオチンチン入れてきたあ。

食欲が満たされたから、次は性欲……ってことなのかな!

『フッフ……いいよ。おっぱいっばいあげたから、アタシはパパのセーエキ
いっばいもらちやうもん!
んあっ……あんっ! あはっ! すごい……
オチンチンがちだだよ……』

興奮してるのが、パパのオチンチンすっごく硬くって……

『膣の中ゴりゴりって擦れてる…… はっんっ!
気持ちいいよお……んっ! あっ……アタシ、もう……イキそうかも……あっ……』



「っ！っ！っ！イっくっ……はあっ！
パ……パパもイかなきゃダメなんだから……セーエキだしてっ！」

いきながら、アタシはパパのオチンチンをぎゅっぐゅっって締めつけちゃった。

「あはっ……オチンチンびくびくっしてきて……」

あそこの中にあっついものがいっぱいにながっていく……

「いっばい……出たあ！んっ！あったかいよお
あっ！赤ちゃん動いてる……お腹ぐにぐに動いちやってる……」

ぽっぽっっって、お腹の内側からおへそその近く叩かれています。

「はあ……早くミルク飲ませてって言うてるみたい……はあっ！
早く生まれてきてほしいな……美味しいミルクいっぱい
飲ませてあげるんだから！その日まで、ガマンして待っててね……」

お腹で動いている赤ちゃんに向かって
自然に喋りかけてたんだ……



臨月でいつ産まれてもおおがしくなくらいにお腹が膨らんじやって……
エッチもおあずけになっちやった。でも欲求の解消はしとかなきゃって……
今日はちよっとオアソビするんだ！

『プフツ……狙いを定めて……んっ ハンッ！ パパの方も……準備いっ？』

おっぱいがむずむずってして、今にも母乳が出てきそう。
パパのオチンチンも……アタシが素股して擦ってあげているせいで、
いつ射精したっておがしくなくらいにビクビクッしてきた……

『パパのオチンチンどっ向いてるかわかる？
このままだと、パパにかかっちやうかもっ！』

アタシの大きなお腹のせいで、パパのオチンチンってば
反り返って、パパの方を向いているんだ。

『んふっ！ アタシのミルクと、パパのミルク
どっちがよく飛ぶのかなっ！』

『わわわわって、アタシの乳首から母乳が染み出っし……』

「あははっー出た……でたあっー」

パパの精子とアタシの母乳は
ほぼ同時に飛び出した。

「やだあ……パパ、精液スゴイ飛んでる……」

パパったら、自分の精液、自分の体にかけるちゃってた。

アタシの母乳と、自分の精液
がかっちやてるのに……

パパったら、すっごく嬉しそうなんだけど！



「もっちゃんよっこの辛抱なんだからっー！」

あと少しで赤ちゃん産まれて、またアタシの中に精子出せるようになるよ……
アタシ、パパの赤ちゃんなら、何人でも生んじやうんだからねっー」

「この調子だと、出産した後またスグに妊娠しちやいそう……」

赤ちゃんもキョウタイできるのが嬉しいだろっな。
って考えたら、アタシもなんだかわくわくしてきて……
出産がとくっつても楽しみになってきちやっただんだ！

妊娠してからだいたいぶ経って、お腹はもうはちきれちゃいそうにパンパン！
リングゲツって言って、もういつ赤ちゃんが産まれてもおおかしくはないんだって。
今、パパに子宮口がどれだけ開いているのが確かめてもらってるの！

パパの指が優しくアタシの「アソコ」を開く。

『あん……』

気持ちよくなっちゃって、声が出ちゃった。最近エッチを控えていたから
ピンカンになっちゃってたみたい。ちよっと恥ずかしいよ。

『ねえ、どっ……かな？』

よく確かめたパパが言っには、
子宮が下に降りてきて
入り口は少しずつ開いてきてるらしいんだー！

もうちよつとで赤ちゃんに会えると思うと……
ドキドキするのが抑えられなくなっちゃっ！

「陣痛の痛みが短くなってきている……でもね、これから赤ちゃんが生まれてくるって思ったら、全然つらいとは思わないよー」

短くなるどころか嬉しさが増してきているんだ。

「早くアタシとパパに会いたいわって

赤ちゃんからのサインだもん！
フフッ……楽しみだなあ」

「イタッ……」

突然……今までは違った痛みがきて、アタシはびくびくしちやった。

「あー！ 何か……漏れてきた。自分じゃ……止められない。あっ……」

あそこがららじわじわってお水が溢れだしてくる……おしっこはちがって、ちよっと生臭い。

「これが破水なんだ……やっとなるんだねー」

ついに子宮が最大まで開いたってこと……あともちよっとで赤ちゃんに会えるー！

「はあ、んっ……ねえパパ、赤ちゃん見えてきたっ!」

赤ちゃんが産道を通って出てきたのを
じーっと待っているけど、暖かいお風呂で浸がりながら
だからかな、そんなにつらくなかった。

それよりも、もうすぐ赤ちゃんに会えるって
喜びでいっぱいだったんだ!

「頭……見えるようになった? 本当?」

パパからは頭のとっぺんが見えてきたみたい!

「あ……これ頭かな? ちょっと柔らかい」

指先をアソビに当たると、柔らかい赤ちゃんの頭は
触ることができたの。

頭はまだでたりひっこんだりしていて、
アタシたちに合つのを恥ずがしているみたいだっ。

「プフ、慌てなくていいよ! アタシもパパも
この10ヶ月ずーっと楽しみに待ってたんだからネ!」

『あーっ！ きっ……あっ……どいへんよ……』

鈍い痛みが下半身にじわじわ広がってきた……。頭が外に出ようとしていた。

『プン……プン……プン……』

「プン……プン……プン……」

無理やり広げられてるみたい……。『』

じわじわ苦しむのが続いたんだけど……

『赤ちやんの頭っ……』

『ん……おっ……ふあっ？ ああ……』

それが、嘘みたいになくなった。

『パパ……今……どうなってるの？ 赤ちやんの頭……出たっ……』

アタシがはあはああって息を切りしながら聞いたら、

パパは、はっきりと赤ちやんの頭が出たよって……

『あ……頭がわるよ……うわあ……』

手を……ま……ま……ま……

まあるい赤ちやんの頭に指が触れることができたんだ！

あとほんのちよっとがマンすれば、会えるんだって……

今まで痛くて苦しかったことなんて、全部吹き飛ばしちゃった！

それからあとは……いままでの時間からするとあっというまに。パパが赤ちゃんの頭を優しく掴んで引っ張り出す。乱暴に思えるけど、頭が一番おおきいから、それより細い身体を出すのは楽なんだって！

『あっ！ 押し…… ちびおーん……
ずるずるっ！ むっぽっ押しだっ！……』

重かったお腹の中が嘘のように軽くなった。赤ちゃんも、羊水のびんがなくなっちゃったんだ。ざびんって音がして、お風呂の中に赤ちゃんが出たってことがわかった。

『パパあー！ 見せてー！ 赤ちゃん……アタシも早く見たいー！』

『パパが赤ちゃんを抱き上げて、私のほうに持ってきてくれた。うわあ……これがアタシとパパの赤ちゃん……』

まだ△その緒でつながったままだった赤ちゃん……

体を拭いて口のの中を軽くゆすいであげると、

『おぎやあ おぎやあ』って私の中で元気な産声を上げ始めたんだ！

『えへへ……うわ！ あぶよぶよしてやわらがい……』

生まれたたての赤ちゃんをきゅって抱きしめる。

やわらかくって、ぶよぶよした肌の感触。

そんな赤ちゃんを抱いたアタシをさらにパパがだきあげてくれて、お風呂から出たんだ。

それから、パパが『よくがんばったね。お疲れ様』って褒めてくれたの！

さっきまで大きな声で産声をあげていた赤ちゃんは、今はすぐくおちついて、アタシの胸の中でおとなしくしていた。

まだへその緒でアタシとつながったままの赤ちゃんだけど、それが本当に自分で産んだっていう証拠でもあって……夢じゃないんだな、ホントのことなんだって実感できた。

『んふんふん……新しい家族が増えたんだね……！ パパッー』

パパとふたりで、新しい家族をジーンと見つめてたら、自然と、頬が緩んできちゃった！

『ふっ……んっ やつとこれで、最後なんだね……』

何ヶ月も及お腹大きくなって……
ついに迎えた出産も、これが最後の作業。

いままでずっと赤ちやんに栄養を送り続けてくれてた
胎盤。赤ちやんが産まれてその役割が終わって、外に
出てくるの。

『さっきしたばっかなの……
また出産するみたいだよお』

後産って言うし、
間違っではないんだらうけど……

って、考え事をしていたら……

『んっ……あ お腹が、またジンジンしてきた……』

さっき赤ちやんから切り離したばっかりの
へその緒がずるずるってあそこから少しづつ出てきたんだ。

『あっ……また陣痛みたいな痛み……
そろそろ出てくるのかな……』

『あっ……出てきている。アマタシのマンコがまた広がって…
んんっ！ はあっ』

赤ちゃんを出す時と同じように、
いきんでると、外へ外へと胎盤が出てくる。
普通は5分から30分くらいかかるんだって。

『はあっ……あと、ちよつとかなあ……んっ
アタシは大丈夫だよ。パパっ！』

幸いなことに、なんの問題もなくスムーズに
出てくれているみたいなんだって。

ズっ

ズヌヌっ……



『んあっ！—はあ……はあ、ふう！
なんだからとってもお腹が軽くなったみたい……』

気がするんじやなくて、
ほんとに軽くなっただけ……

いままでお腹の中に赤ちゃんが
当たり前になっちゃっていただけ、
逆にこんなじすつきりして、違和感を感じちやう！

『えへへ、どう？ アタシがんばったよー』

って言ったら、パパも『よく頑張ったね』って
褒めてくれた！

『気が早いかもしれないけど……二人目の
赤ちゃんも欲しくなっちゃったー』

呆れたような顔で、パパは
『まずは最初の赤ちゃんの面倒ちゃんと見ようね』
って、自分の胸に抱いていた赤ちゃんを
アタシに渡してくれた。

『んふっ そのとおりだよなっ！—
いっばい面倒見てあげるから……』

アタシはすやすや眠っている赤ちゃんに
やさしくおしゃやいたんだ……



「あっ……もう！
おっぱい溢れてきちゃった。パパが焦らすから……
あとで出ちゃったおっぱい、セキニンもって飲んでみようか……」



こんにちは
お腹は大きくなるんだね！

0-3ヶ月
から
10ヶ月

•月経の遅れ
つわりの症状で
妊娠に気づくころ

5週目くらいからは
女性ホルモンの分泌が
盛んになって、
体がだるくなったり眠気も

•赤ちゃんは“胚”と呼ばれる
原型の状態

4-7週ころの赤ちゃんは
胎芽と呼ばれ手足の区別
がついてきて、主器官の基礎が
できあがる



0-2ヶ月 (0-7週目)

•つわりがきつくなってくるころ

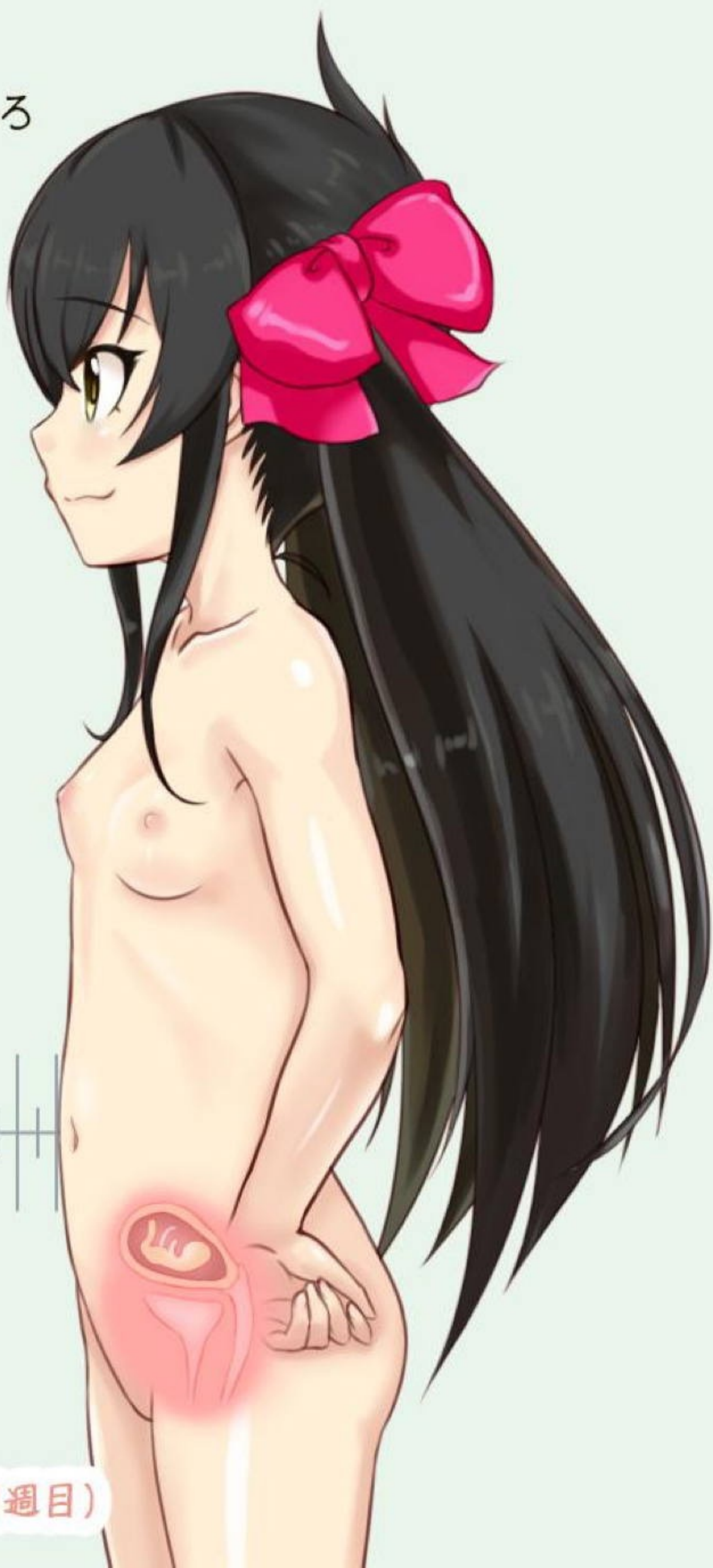
下腹部はややふっくらとした
感じに

子宮はコブシくらい大きさ

•10週ころの赤ちゃんは
胎児と呼ばれるようになる

頭、足、胴が発達して3頭身に
また、羊水を飲み
尿を排泄し始める

へその緒から
栄養をもらうように



3ヶ月 (8-11週目)

•つわりの症状がおちついてくる

食欲が増加してくるので
体重管理を大切に!

14週ころには
体内ホルモンが安定してきて
体温が下がり、眠けやだるさも
改善される。

•15週ころに胎盤が完成

身体や手足の筋肉、骨が
発達してくる

赤ちゃんの流産の可能性は
なくなってくる



4ヶ月 (12-15週目)

• 妊娠中期

子宮は幼児の頭より少し大きくなる頃

皮下脂肪がつき
ふっくら丸みを帯びた身体に

乳腺が発達してくる

18週ころから、早ければ
胎動を感じるかも……

• 赤ちゃんは骨が丈夫になり、
筋肉、皮下脂肪がつきはじめる

髪の毛が生えてくる

体の動きが大きくなる



5ヶ月 (16-19週目)

•胎動を感じる人が増えてくる

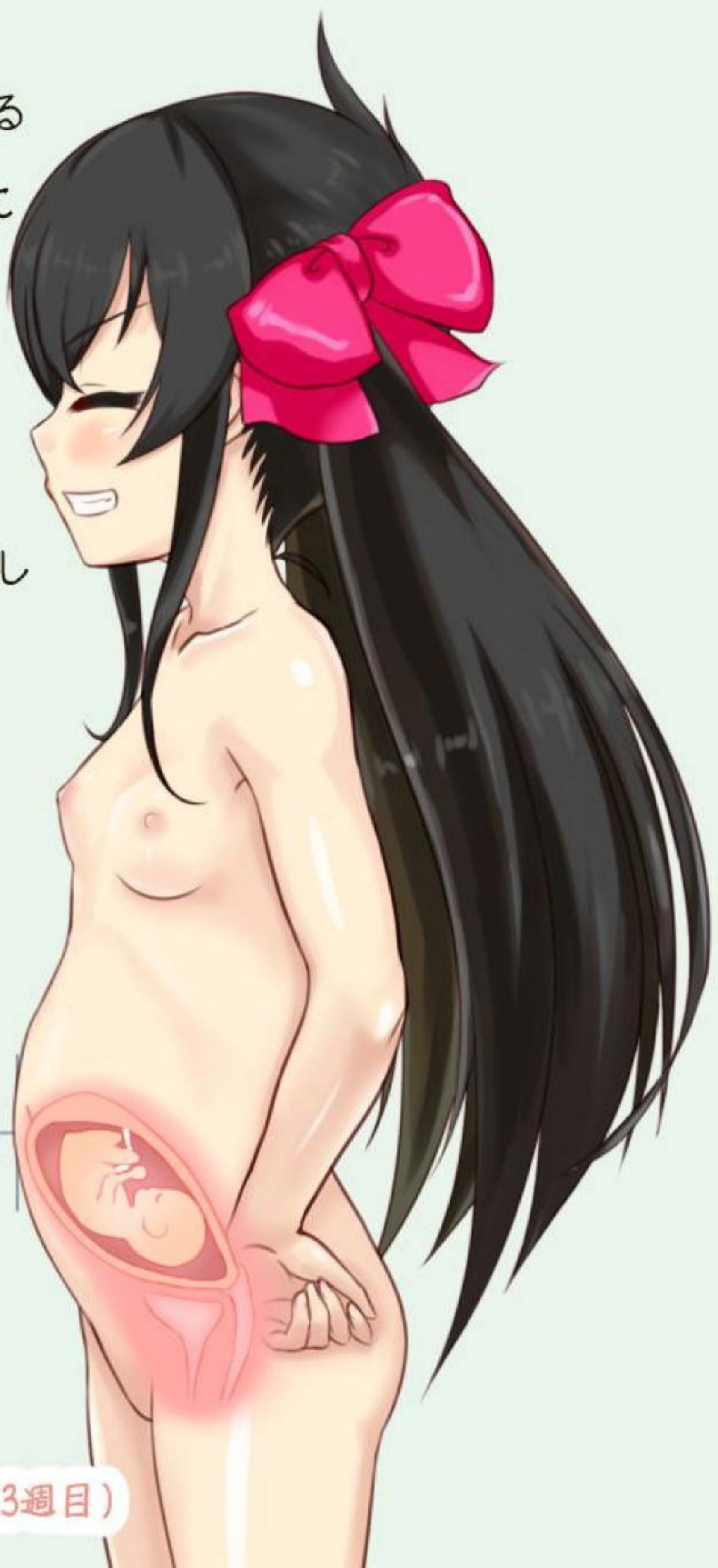
妊娠状態に慣れて、心身ともにおちついてくる

お腹が前にせり出して
くるので腰や背中に
負担がかかりやすくなる……

•赤ちゃんは臓器の機能が発達し
身体の細部が発育してくる

大きく体を動かす運動を
するように

聴覚が発達してくる。



6ヶ月 (20-23週目)

•おなかが一段と大きくなって
重みを感じ始める

仰向けで寝るのが
つらくなってくるかも……

妊娠線に注意してケアを!

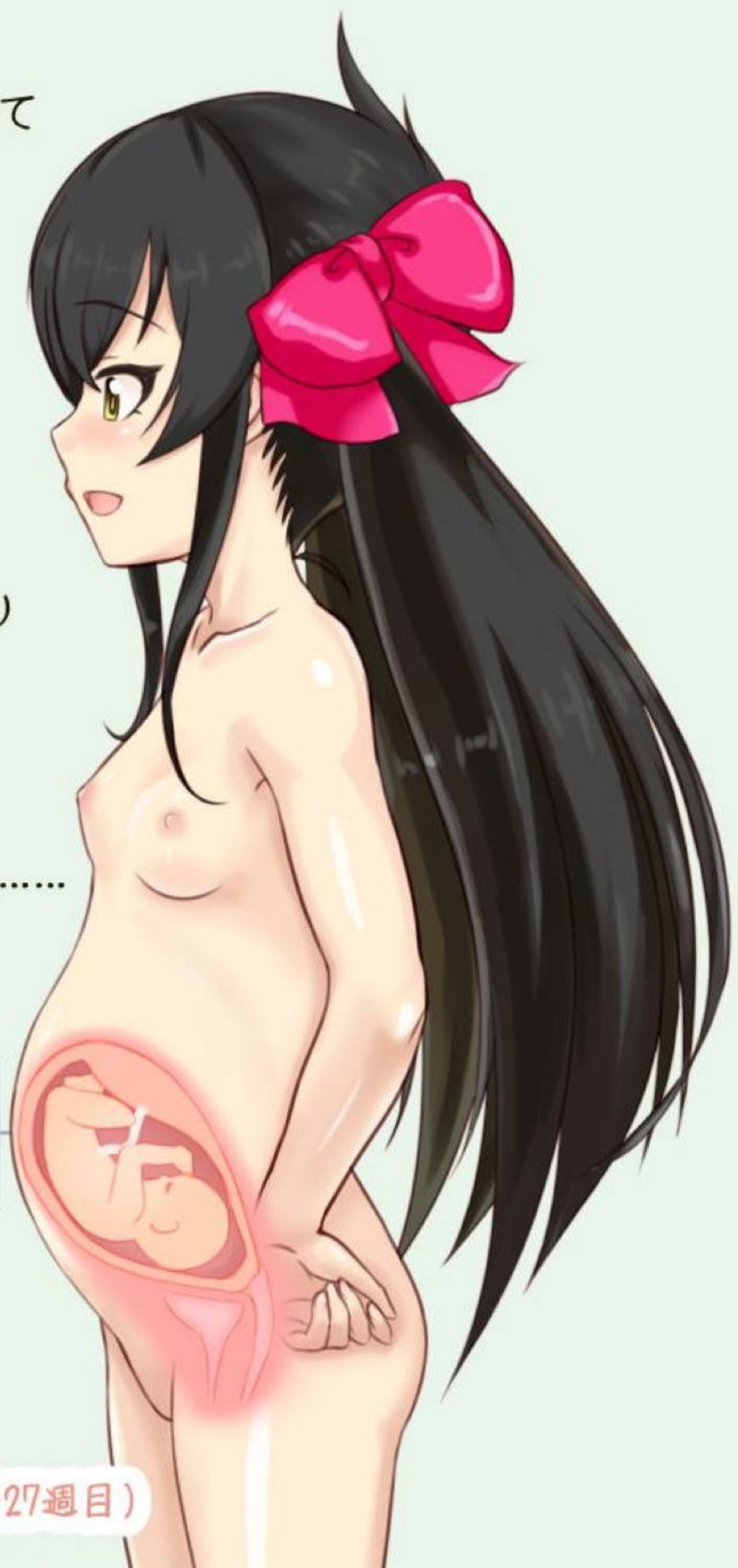
お腹が大きくなって
腰痛に注意

子宮のてっぺんはおへそより
上部に

•赤ちゃんは羊水の中を
ぐるぐる動きまわるように

さかごになってしまうことも……

男女の外性器が
わかることも?



7ヶ月 (24-27週目)

• 妊娠後期

赤ちゃんがどんな姿勢でいるのかわかるようにも

おなかがせり出して、足元が見づらくなってくるので、階段などでは注意を

おりものがふえていくことも

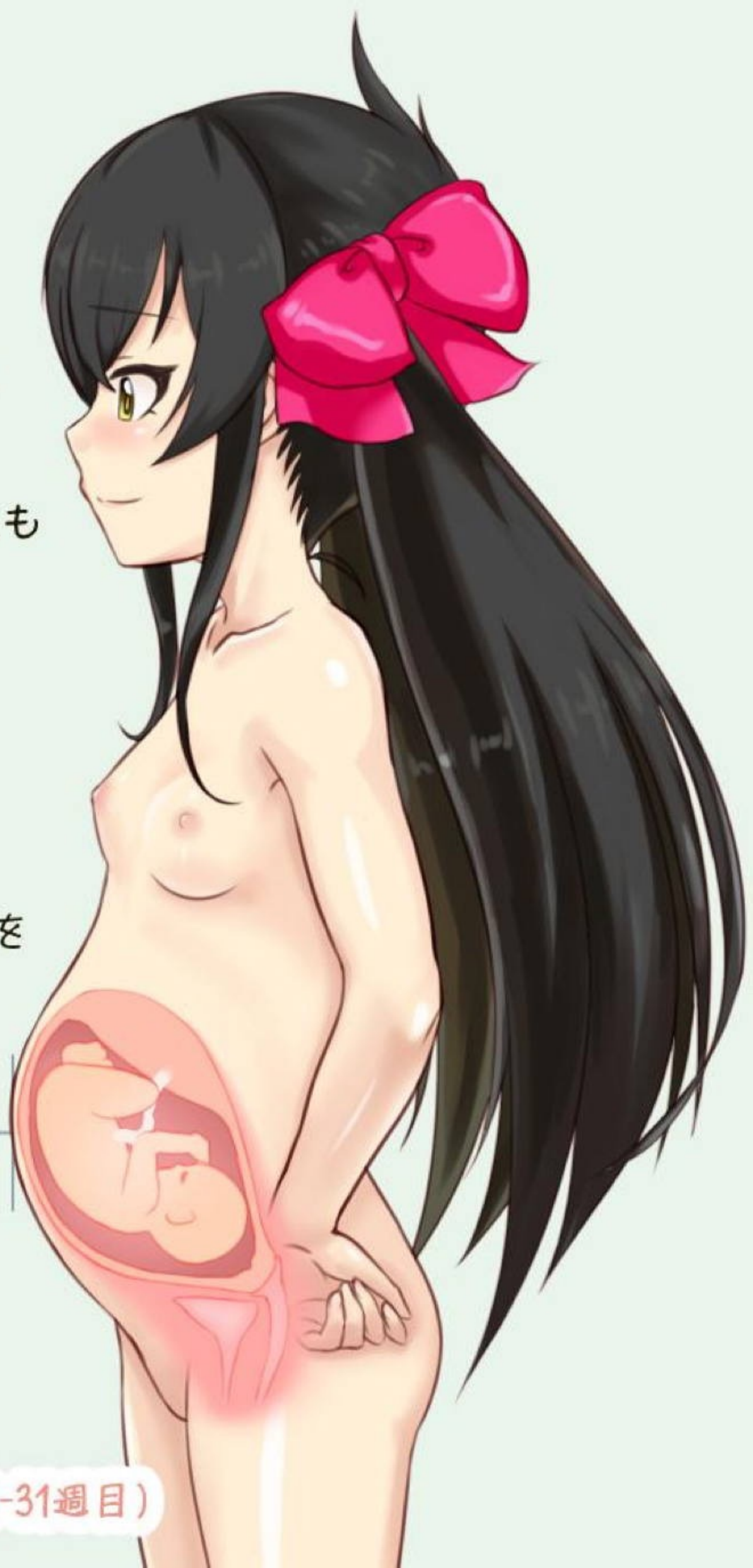
手足がむくみやすくなる

• 赤ちゃんは内臓器官や中枢神経の機能が充実

聴覚がほぼ完成する

誕生に備えて、肺呼吸の練習を始める

身体が大きくなるためたての向きに



8ヶ月 (28-31週目)

•子宮が大きくなることで
胃が押し上げられ
むかつき、食欲減退も？

膀胱も圧迫され、
頻尿、尿漏れなどの
トラブルも

お腹の張りも出やすく

身体が重くなって
疲れやすくなるので、
無理せず休息を

•赤ちゃんは肺の機能が完成
からだつきもふっくらしてくる

外見的には新生児と
ほぼ変わらなくなってくる

胎脂で全身が
覆われるように



9ヶ月 (32-35週目)

•子宮が下がって胃がすっきり
してくる
食欲が戻ってくるので、
食べ過ぎに注意!

一方で頻尿、尿漏れは
ひどくなってくる

37-41週はいづれ産まれても
問題ない時期(正規産)
のため、お産に対する
心の準備を!

•赤ちゃんは骨盤の中に下がり
お産に向けた体位に

腎臓機能が成熟して、
水分がしっかり処理される

肌も針のあるピンク色に

胎脂が少なくなる

皮下脂肪が多くなり
ふっくらした体つきに



10ヶ月 (36-40週目)



0-2ヶ月 (0-7週目)



3ヶ月 (8-11週目)



4ヶ月 (12-15週目)



5ヶ月 (16-19週目)



6ヶ月 (20-23週目)



7ヶ月 (24-27週目)



8ヶ月 (28-31週目)



9ヶ月 (32-35週目)



10ヶ月 (36-40週目)